

## 技術概要書（様式）

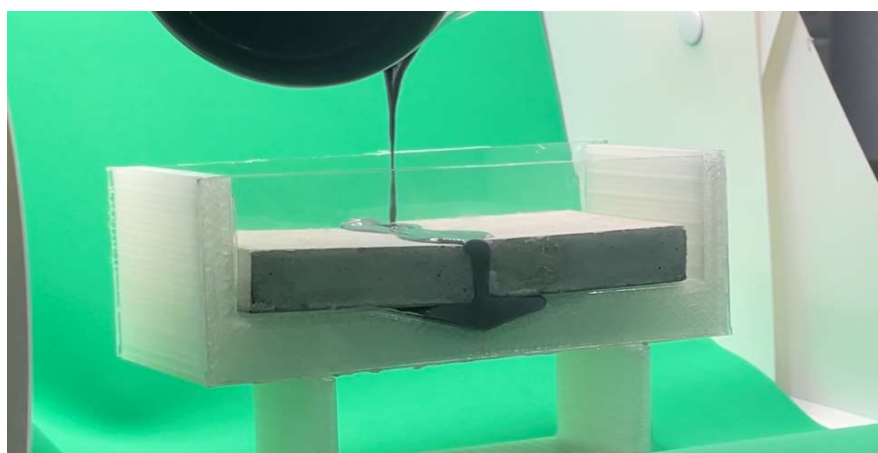
※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX <u>維持管理</u> 環境 コスト 品質 <span style="color: red;">（該当分類に○を付記）</span>													
技術名称	ニンジャシール	担当部署	九州支店営業部											
NETIS登録番号	KT-220184-A	担当者	小野 宏											
社名等	株式会社ガイアート	電話番号	092-714-6501											
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機													
	<p>コンクリート版の不具合は角欠け、パンチアウト、ひび割れ等表面変状の他、交通荷重等により目地材破損から雨水侵入、さらに基盤の弱体化、空洞化にも発展します。コンクリート版の補修方法は、コンクリートよりも強度の高い樹脂モルタルでの打換工では強度差により再劣化が生じ、応急的なAs補修材投入等では付着力が弱くすぐ剥離するのが現状です。そこで常圧注入可能な柔軟性と耐久性を備えた新たな補修材を開発しました。</p>													
	2. 技術の内容													
	<p>コンクリートのひび割れや空隙などを、流動性の高い2液常温混合型のポリウレタ樹脂で充填し、高い衝撃吸収力により補修後の耐久性を確保するものです。<span style="color: red;">必要な材料がワンパッケージ</span>となっており、現場で簡単に調合が可能。火を使わないため、火災や火傷によるリスクを軽減できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上面載荷試験 曲げ強度の85%以上 下面載荷試験 曲げ強度の105%以上</li> <li>・ホイールトラッキング試験 DS=60,000回/mm以上</li> <li>・ラベリング試験 高機能舗装と同等以上の耐久性</li> </ul>													
	3. 技術の効果													
<p><span style="color: red;">ソフトでしなやかな物性（伸び率300%：JIS A 6021）</span>により、衝撃を吸収するため既設舗装を傷めず、万が一ちぎれて飛散しても大きな事故につながる可能性は少ない。</p>														
4. 技術の適用範囲														
<p>コンクリート舗装の欠損部・ひび割れ、段差補修（トンネル内、ETCレーン等） 橋梁ジョイントの後打ちコンクリートの補修</p>														
5. 活用実績														
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">国の機関</td> <td style="padding-right: 10px;">4件（九州</td> <td style="padding-right: 10px;">0件、九州以外</td> <td>4件）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>5件（九州</td> <td>1件、九州以外</td> <td>4件）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>14件（九州</td> <td>2件、九州以外</td> <td>12件）</td> </tr> </table>			国の機関	4件（九州	0件、九州以外	4件）	自治体	5件（九州	1件、九州以外	4件）	民間	14件（九州	2件、九州以外	12件）
国の機関	4件（九州	0件、九州以外	4件）											
自治体	5件（九州	1件、九州以外	4件）											
民間	14件（九州	2件、九州以外	12件）											

6. 写真・図・表



必要な樹脂材料が1缶のパッケージになっている



充填実験(動画の切り抜き画像)1mmの隙間でも充填される



着工前



施工完了